

3/10

平成31年度中の新庁舎完成を目指して 庁舎づくりを考える市民ワークショップ

南公民館で『庁舎づくりを考える市民ワークショップ』の3回目が行われました。これは、利用者である市民の意見を庁舎建設に生かそうと、市が基本設計事業者である山下設計東北支社（秋葉公太支社長）と共に開催したものです。延べ39人の市民が参加し、毎回、テーマ毎に活発な意見交換を行いました。全3回とも参加した笹森栄子さんは「市民も利用しやすい、温もりのある新庁舎になってほしい」と話しました。



グループワークでは、設計に携わるスタッフと市民の皆さんが熱心に意見を交わしました



生徒はそれぞれ組合員の皆さんに教えてもらいながら、全員が2時間ほどで片足分を編み上げました

3/5

三農生が伝統の手仕事を体験 きみがらスリッパ製作体験

平成25年度から十和田きみがらスリッパ生産組合（宮本桂子組合長）と連携し、デントコーンの種まきから収穫、皮むきなどを行ってきた三本木農業高校（瀧口孝之校長）の生徒が、市勤労青少年ホームで、伝統工芸品『きみがらスリッパ』の製作を体験しました。

体験には、植物科学科の3人と、伝統の手仕事を部活動で展開しようと手芸部から2人が参加し、基本となる草履を編み上げました。

2/28

全国初！県境を越えて簡易水道施設の共同利用 『簡易水道の共同利用』通水式

十和田湖畔休屋地区で簡易水道の共同利用通水式が行われ、小山田市長と秋田県小坂町の細越 満 町長が出席しました。これは、本市と秋田県小坂町の簡易水道施設を連絡管で接続し、本市側から小坂町側へ常時送水するもので、本市にとっては余剰水量の解消、小坂町にとっては施設の更新費用の軽減につながります。小山田市長は「今後とも連携して生活機能の確保に努めたい」とあいさつしました。



仕切弁を開放する小山田市長（写真左）と細越町長（同右）



たくさん笑って楽しいなど参加者の喜びの声を話した並木第二町内会『いきいきはつらつサロン』の悪原まき子さん

2/23

地域で手をつなごう とわだ生涯現役プロジェクト事業活動報告会

市民文化センターで『平成27年度とわだ生涯現役プロジェクト事業活動報告会』が行われ、約80人が参加しました。この事業は、地域による支え合い体制づくりのために、地域団体に活動費の一部を助成し、支援を行うもので、平成27年度の活動団体に選定された3団体が活動内容を報告しました。その後、おいらせ町で活動を展開しているさわやか財団さわやかインストラクターの葛原美恵子さんが講話を行いました。